

感謝

私が衣川中学校のPTA会長に就任した時は2年前、また平成の元号でした。そして今年は今和2年。東京五輪が開催される素晴らしい年になろうかと思つた矢先に新型コロナウイルスにより、たくさんの方が感染し、亡くなるという悲しい出来事に見舞われ、人々はみな自粛による生活になりました。学校が休校になってしまひ、子供達も私たち大人も異例の事態に今も不安は続いていると思ひます。

そんな中、私が思つたのはPTA総会どうしようでした。緊急事態宣言が出ても、人々はみな他人事のように思っているなど自分自身を含めて感じました。たくさん感染者がでて、また亡くなる人も増え、著名人が亡くなつてようやく「怖いな」と思ひ出したのではないかと思ひます。誰しも自分に危険が迫つてこないと気がつけない、人が大半で当たり前だとも思ひます。

それでもPTAのことを考えていました。今思えば正直そんなことを考えている場合ではなかつたのですが、この2年間、リム化に向けて突走つてまいりました。次期役員すらも、立候補という方法に変えました。今までの活動も役員だけの仕事ではなく、「みんながみんなを運動」としてボランティア活動にしました。2年目、不安な中この活動に変えたところ、たくさんの方が参加してくれました。この気持ちが本当に嬉しかたです。PTAの会員数が減っていく中でこのような気持ちを持つてくださる方がいたことが、私にとつても何よりも頑張ろうという原動力になりました。

今年の現在の会員数はかなり減りました。PTAに入会しても、投票はないし役員も立候補なため当てることはありません。今までやってきました活動もボランティアにしたので強制ではありません。それでも減つてしまいました。これは何故なのか運営側としてはとても理解しがたいものでした。

昨年はアンケート等もとつり、その結果をふまえ活動内容も変えてきました。その中で役員が嫌だから入会しないというものがあたり、メリットは？デメリットは？というものもあり、今年は投票制もなく、昨年からは活動も役員だけが負担にならぬよう強制でなくボランティアにしました。その結果がさらに会員を減らすことになってしまいました。

これはPTAの存在自体が何なのか、何をしているのかということが皆さんにアピールできなかつたわたしの力不足だつたと思つていきます。

子供達のためにとつちながら夜の会議だつたり、一体何が子供達のため？？と自問自答もしました。実際目に見えないとわからないことばかりだと思ひます。この3年前までは私ですらPTAというものがどんな存在でどんな活動をしているのか知らなかつたうえ、無関心でした。『なんで協力せなあかんのか』とも思つていました。

ところが都合がいいと思つちかもしませんが、この3年で全く違う考えになりました。地域の方々のボランティア活動、私たち保護者が知らないところで登下校の子供達を見守つてくださつてること。このような活動のおかげで私たちが安心してこの地域で子育てができていくということ。改めて感謝することになりました。当たり前が当たり前でなかつたということなのです。

またPTAの会費は、役員の活動費や卒業式の証書ホルダーや印鑑やサインだけだと思つてませんか？

実は子供達が快適な学校生活を送れるように様々な補助をしています。

昨年度は校長先生の要望で各クラス前にベンチを置きました。人権講演会には「元陸上北京オリンピック代表 小林祐梨子さん」に来ていただきました。衣川中学校のホームページも会費でまかなわれています。

また、昨年の体育大会の予行の時にテントがなくて体調を崩した子が数名出たと聞き、今年はPTA会費から捻出しようと思ひ、予定をしています。

このようにPTA会員の会費を今後は見える形で活用し、子供達には平等にしていきたいと思いで
す。会員が減少するとそれもなかなかできません。どうしても難しく平等なこともできません。
子供達に快適な3年間を過ごさせてあげられるように今後も衣川中学校のPTAにご協力をお願い
いたします。

最後に、至らぬ2年間ではあと思いますが、皆様のご協力には感謝しかございません。
新型コロナウイルスで自粛生活の中、こんな時だからこそ心は貧しくなりませんよう相手を思いやる気
持ち、感謝の心で過ごしたいと思えます。皆様の健康をお祈りいたしまして、ごあいさつとさせて
いただきます。

このような事態のため総会を開催できず総会同様、書面にての挨拶になりましたが最後までお読み
いただきありがとうございます。ありがとうございました。

令和2年5月 衣川応援隊衣川中学校PTA会長